

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 26 年 3 月 13 日 (2014.3.13)

【公開番号】特開 2012-181974 (P2012-181974A)  
 【公開日】平成 24 年 9 月 20 日 (2012.9.20)  
 【年通号数】公開・登録公報 2012-038  
 【出願番号】特願 2011-43441 (P2011-43441)  
 【国際特許分類】

F 2 1 V 8/00 (2006.01)

F 2 1 V 5/00 (2006.01)

F 2 1 V 5/04 (2006.01)

H 0 1 L 33/58 (2010.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 8/00 3 2 0

F 2 1 V 5/00 5 1 0

F 2 1 V 5/04 1 0 0

F 2 1 V 5/04 4 0 0

H 0 1 L 33/00 4 3 0

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 1 月 27 日 (2014.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

発光ダイオードと、前記発光ダイオードの出射光の開口数を変換するよう設けられた光学系とを有する発光ダイオード照明装置であって、

前記光学系は正の屈折力を有するレンズから成り、

前記発光ダイオードは前記光学系の焦点または焦点の近傍に配置されており、

前記発光ダイオードの発光面の代表的寸法を L、前記レンズの径を D o、装置から照射される光の開口数を N A o u t、前記レンズの焦点距離を f としたとき、

$$D o \geq 2 f \geq L / N A o u t$$

であることを、

特徴とする発光ダイオード照明装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本発明に係る発光ダイオード照明装置は、発光ダイオードと、前記発光ダイオードの出射光の開口数を変換するよう設けられた光学系とを有する発光ダイオード照明装置であって、前記光学系は正の屈折力を有するレンズから成り、前記発光ダイオードは前記光学系の焦点または焦点の近傍に配置されており、前記発光ダイオードの発光面の代表的寸法を

L、前記レンズの径を $D_o$ 、装置から照射される光の開口数を $NA_{out}$ 、前記レンズの焦点距離を $f$ としたとき、

$D_o \geq 2 f \cdot L / NA_{out}$   
であってもよい。